

製品名: RAS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87795**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:20-1:50,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:22 kDa; Observed MW:22 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAS
別名	NS6; CMNS; NCMS; ALPS4; N-ras; NRAS1
遺伝子 ID	4893
SwissProt ID	P01111
免疫原	ヒト RAS の合成ペプチド

背景

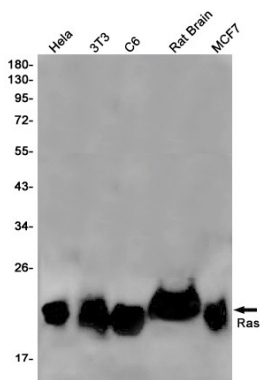
これは N-ras がん遺伝子であり、ゴルジ体と細胞膜の間を往復する膜タンパク質をコードする。この往復は、ZDHHC9-GOLGA7 複

合体によるパルミトイル化および脱パルミトイル化を介して制御される。コードされているタンパク質は固有の GTPase 活性を有し、グアニンヌクレオチド交換因子によって活性化され、GTPase 活性化タンパク質によって不活性化される。この遺伝子の変異は、体細胞性直腸がん、濾胞性甲状腺がん、自己免疫性リンパ増殖症候群、ヌーナン症候群、および若年性骨髄単球性白血病と関連付けられている。[RefSeq 提供、2011年6月]

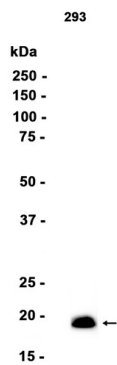
研究分野

-

画像データ



Ras 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa、3T3、C6、ラット脳、MCF7 細胞溶解物中の Ras のウエスタンプロット検出。



db13174 を 1:1000 で使用して 293 細胞からの抽出物をウエスタンプロット分析しました。